

青葉山

自然観察の手びき



はじめに

私たちの郷土・福井県は、本州のほぼ中央にあり、様々な自然環境に恵まれています。

自然は、私たちの生活と深いかわりがあり、健康で文化的な生活を確保するためには、これを適正に保護し、後世に残していかなばなりません。

このため、県民ひとりひとりが自然に対する正しい知識を深め、自然保護の精神を身につけることが大切です。

本小冊子は、この目的のため自然に接して、そのしくみや人間との関係について理解を深め、自然に対する愛情やモラルを育てるために作成しました。

この小冊子を野外教育や自然観察などのガイドブックとして、活用していただければ幸いだと思います。

平成2年3月

福井県知事 栗田幸雄

目次

はじめに	2
青葉山の百科辞典	3
枯木の語り	9
登山道の自然	13
A. 松尾寺からの登山道	13
B. 中山寺からの登山道	16
ブナ林	23
青葉山周辺の自然	25
登山道で割合多く虫たちがみられる	28
雨あがりの展望台よりの雲の動き	29
青葉山周辺の地質・地形	30
葉形のデパート	33
あとがき	35

青葉山の百科辞典



(ガマズミ)

若狭湾の展望がすばらしい

ウア
スバラシイ



利用者の皆様へ

青葉山は、「石炭基土」と呼ばれる姿の美しい山であり、フナ林が残存するなど豊かな自然環境を有していますので、入山にあたっては、次の点に十分注意してください。

- ① 青葉山には、ヤマナなどの小動物や昆虫が生息しており、また、貴重な植物が生息しているため、捕獲したり採取したりしないようにしてください。
- ② タバコの投げ捨て、たき火などの山火事の原因となる行為はやめましょう。
- ③ 「ゴミ、空き缶」などは持ち帰りましょう。

環境庁・福井県



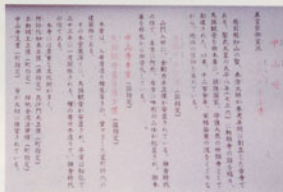
国道27号線小浜より



4
A. 戦前まで女人禁制の霊山 (青葉山) <東 権現……………中山 寺
青葉権現……………松尾 寺



泰澄大師像



中山寺は真言宗御室派中山寺という。また、金剛力士「仁王」および馬頭観音菩薩坐像は重要文化財で鎌倉時代の作という。



* 松尾寺からの登山道でみられる鳥居



● 江戸時代は修験道の山として女人禁制であった。
● 青葉山附近は舞鶴要塞として一般人の出入が禁止されたので自然が残されたのであろう。

* 松尾寺は慶雲年間(704~709)に建立されたという。

B. 歴史と共に呼び名の変わる青葉山

(青葉山の別名) 若狭富士……若狭で富士山のように見えるから(一般的)

特に高浜町三松方面(国道27号線)からながめるとき。

(弥山(みせん)・弥山嶽……万治年間(1658~1660)頃呼んでいた。

(馬耳山(ばじさん)……西からみると東西の2つの頂上が馬の耳のようにみえたから。

以弥山・御浅嶽

(鉄山(はさみやま)……内浦の漁師が海からながめるとき。

双子山

青羽山……奈良時代・鎌倉時代に呼ばれていた。



C. 青葉山の歴史継面

- 泰澄大師が1250数年前、白山比咩神社の分神を山頂に移し、開山した。
- 毎年8月6日は山伏を先達としてホラ貝を吹きならしつゝ登山する。
- 山頂附近には集塊岩が露出して風化による奇岩・怪岩が多い。約400万年前、数回の火山活動によって標式的なコニーデ型の火山である。



国道27号線（高浜町高野）から……狹山・双子山

青羽（葉）山の歌

秋のつゆはうつしなりけり

水鳥の青羽の山の色つく見れば

万葉集

三原王

身に近く秋や来ぬらん見るまでに

青葉の山もうつろひにけり

源氏物語

俊成卿

尋ねばや青葉の山の遅桜

花の残るは春のとまるか

枕古今集

*大上天皇
だいじょう

*天皇讓位後の称号

立よれば涼しかりける水鳥の

青羽の山の松の夕かせ

新古今集

式部大輔光範

うすくもる青葉の山の朝あけに

ふるとしもなく雨そそぐなり

風雅集

後宇多院

富士なくば富士とやいわん若狭なる

青葉の山の雪のあけぼの

詠人しらず



青葉山（標高699M）

別名、若狭富士として万葉の歌人にも詠まれている。

暖寒流の影響で、高山植物、暖地性植物が共に育っている珍しい山である。

昔は女人禁制の靈山であったが樹海や岩場をめぐる登山コースとして親しまれている。

高浜町

←国道27号線（高浜町三松）から……
若狭富士

内浦湾



青葉山からみる絶景か



青葉山より内浦湾を



松尾寺奥の院 その1



83.7.7

な。マリンガーデン？



青葉山より内浦湾を

常盤木や夏も目にたつ青葉山

一七三二年

里村昌悦
(連歌宗匠)



83.7.7



西峰から若狭湾をながめる

(枯木による生物の影響)

- 光の量が増加。
地表面が直接光にあたる。
- 地表面の温度変化。
温度の日周変化が極端になる。
- 水分の条件変化
- 地表面に落葉・枝などの植物遺体が多くなる。
コケ類などが消滅することもある。

西峰(西の権現)附近は、巨岩(火山岩)の連続＝岩場＝



西峰から国道27号線をながめる

舞鶴湾



東峰から西峰を望む

枯木の語らい



腐った木に生活するルリボシカミキリ



キノコ・菌類・腐食動物などが待ちかまえる





密植林の欲ばり？

保育管理の手を省くから

(約十ヶ月後でも……)

単一の植林は生態系から見ると

どうかなア？

杉葉が枯れると

下草まで枯れるのか？



風雪に耐えたものは、
いつまでも生きた証として
死にざまは
いろいろ!!



09.5.31



枯木の中にどれぐらいの
動物がいるだろう？



自然界では横たおしになるまでに

幾世相が必要なのだろうか？



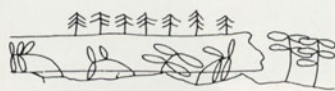
枯木の周囲は空間になっていることから生きていた状況が推察できる。

森林中の枯木



雑樹
雑樹

ササ
ササ



倒木と根株の効用



中山寺(東権現)

登山道の自然
A. 松尾寺からの登山道

どなたかの庭園の一部か？



(火山)岩の上に樹木あり



自然状態をすなおにみつめ



その中から学びとるのは

学びとる者の力なり



登山道をさえぎる巨岩（火山岩）

つなをたよりに登り降りする登山道

大きな岩（集塊岩）が、ゴロンゴロン

カムフラージュするように樹木がおおう！！



「石の上にも三年」だるま大師じゃないけれど靈感ただよう青葉山

登山道変じてにわか川

B. 中山寺から登山道

(馬の背)



オオキンレイカ

↑
カワラナデシコ

ギボシ・イブキジャコウソウ



馬の背にて



ホタルブクロ

火山岩の絶壁にも生物は何のその!! 火山岩表面の百面相 (季節によって、着生する植物・動物達がちがう。)



ナナカマド



ナツツバキ

(ナナカマド 1口メモ)

- イギリス(スコットランド)では生命の木でこの実を食べれば1年中飢えないという。これで魔よけのお守り。
- バラ科の一種。
- 平保14年(1843)小野識孝(恵猷)撰・同識実編「救荒本草啓蒙」に掲載されている。

(ホタルブクロ 10メモ)

- 螢袋、別名葬式花など
- ホタルを入れるのにつごうがよいという意味がある。ホタルは穂垂る、火垂るの語源があるように中村博士によると、またチョウチンバナとあるように火垂る袋から転化したものである。
- 仲間は北半球では約 300 種類あって、花の美しいものが多い。
- キキョウ科の一種。



馬の背

火山岩の露出



山の頂上附近で、巨岩・樹木の
モザイクも珍らしい。



巨岩の連続



巨岩と巨岩の間に
樹木が.....

89.6.31



大
師
窟

火山岩の露出

昔は修験者の道場?.....自然の洞窟
なっとくできる.....



山の頂上附近に大きな岩石があって、
このような地形になるのは.....

自然のいたすら

まがつたり、みつまた三又になつたり……

馬の背あたりの樹林





よくまあ!!こんないたずら?.....

まがったものだ わかれたものだ



遠くに国道27号線が見える

ブナ林……………温帯の広葉樹の代表。ブナ林を失うと、洪水、土砂くずれ、異常な水がれなどの災害がおきる。

原生林の山毛櫸の若身のすがすがし

また生まなまど幹の輝き

東条美土里

ブナ林は人工植栽によりできたものではない。



夏のブナ林は、

天然のクーラー

秋のブナ林は

キノコの宝庫



（ブナにまつわる言葉 1ロメモ）

- ブナ林の春は“雪もみじ”と呼ぶ

ブナの冬芽をつつんでいるあずき色の葉（包葉 ほうよう）が雪の上に落ちて赤くそまるからです。

- 根もとの雪どけ…………… ブナが活動をはじめた証。

• 温帯の肥沃な土地……………ブナが群生できる土地で、やせ地（蛇紋岩地域など）には生育しない。

• ブナは食べられる…………… 学名のファグスはギリシャ語の「食べる」という意味で、果実が食用になる。



原生林（ブナ林）の一部



ブナはかたくて折れやすく、
水を吸収するところがしやすい。

ブナの実（ブナノミ）は、5～6年おきに大豊作になる。
ブナの寿命は約250年です。



ブナ林は鳥のアパート



青葉山周辺の自然



モクゲンジ(別名:センダンバノボダイジュ)

(モクゲンジ 10メモ)

本患子より由来

- ムロクジ科、落葉高木6～7月頃黄花がさく。種子はじゆず(数珠)に使う。分布上、珍重て本州西部の日本海側、朝鮮・中国に分布している。漢字では榮華または榮樹と書く。
- 中国では古くから墓地の樹として知られ、日本では僧侶によって寺院などの境内に移植された。
- 種子を念珠にしたり、中国では花から目薬にしたり、黄色の染料にする。

河原は日ぐれの雨の降るなかに

待宵草の一めんの花

長谷川 銀作



(オオマツヨイグサ 10メモ)

- アカバナ科の2年草(北米東産) 帰化植物の一種。
- 大待宵草と書く、突然変異説の材料。
- 日没後20分頃が開花の最盛期で「ガサ・ガサ」とかすかな音を立てて開花する。
- 花粉は粘着糸でつながっている。
- スズメガの中間(ビロウドスズメガ)が花を訪れる。虫の体の一部にくっつくと、ざろざろと多くの花粉がくっついていく。
- 夏、茎の頭や葉腋に大きな4枚の黄色の花弁をつける。



◀夜に咲く花、オオマツヨイグサ



—(スナガニ 1口メモ)—

- ・砂浜に穴居生活。走るときわめて敏速で、
*
採集するときは、はいあがるのをおさえる。
甲は四角形、体色は天候や昼夜によって変化
する。一般には青かつ色で、足はうすい紅色
である。
- ・微妙なまさつ音 (大きなはさみにある) をだ
す。多くは穴の中で発音する。

*同シリーズ
自然観察の手びき 敦賀半島編
25頁を参照



鳥①



鳥②

砂だんごをつくるスナガニの仲間



セキレイの卵
人家の近くに巣をつくる



セキレイのひな

暖地性のセミで県内では青葉山附近に生息している。
午前中はよく鳴き午後は仮眠することが多く、余り
鳴かない。



日本産で一番大きいクマゼミ



マムシ

国蝶のオオムラサキ



オオムラサキ(昆虫)

蝶類の幼虫は特定の植物しか食べない習性があります。
オオムラサキの食樹は、エノキ・エゾエノキです。 ➡



登山道で割合多く虫たちがみられる



ハンミョウ



(ハンミョウ 10メモ)

- 鞘翅目に属する甲虫。幼虫は土中に穴を掘って生息する。近頃道路が舗装された結果、生息場所が失われ、その数が減少しつつある。
- 道路にそって飛ぶので、昔から道おしえという。
- 成虫・幼虫ともに虫を食べる。
- 漢字では斑猫、斑螋と書く。



関西型(後支羽に白い斑点)があるダイミョウセセリ



春の女神ギフチョウ

ギフチョウの幼虫が
食べるカンアオイ

オトシブミ

オトシブミの「ゆりかご」【豆知識】

日本には約25種のオトシブミがいます。幼虫のえさになる葉をまき、その中に産卵をします。ふ化した幼虫は、その「ゆりかご」の葉の壁を食べて大きくなります。「ゆりかご」は木にぶやさがるもの、地上に落されるものなどがあります。



地上に落下したオトシブミ



オトシブミの幼虫

雨あがりの展望台よりの雲の動き (所要時間10分)



①

②



山と海から
水の循環……



④

③

雲の動きに注意 ①～⑤

(メモらん)



⑤

(メモらん)



まとめ

- 青葉山の周辺は新生代、第三紀の地層と、中生代の基盤岩でできています。
- 青葉山周辺の中生代・新生代の地層からは、豊富な化石が産出しています。
- 新生代の地層からでるクジラ・アザラシなどの大型化石からマングローブの化石群の産出は大変なものです。
- 中生代の地層から産出する貝化石の量も著しいものがあります。

青葉山周辺

新生代第三紀層分布 (たい積岩)



まとめ

- 青葉山周辺は
- 新生代・第三紀の地層
 - 中生代の基盤岩
 - 豊富な化石が産出
- からできている
- クジラ、アザラシ
 - 新生代の地層……(大型化石)マングローブの化石がみられる
 - 中生代の地層……貝の化石がみられる

の地質・地形



*高野・今寺



見方によってちがう青葉山



頂上が3つの山に分かれている



疑問

青葉山は……円錐状でコニーデ式火山に似ているからコニーデ式火山と呼ぶが？……

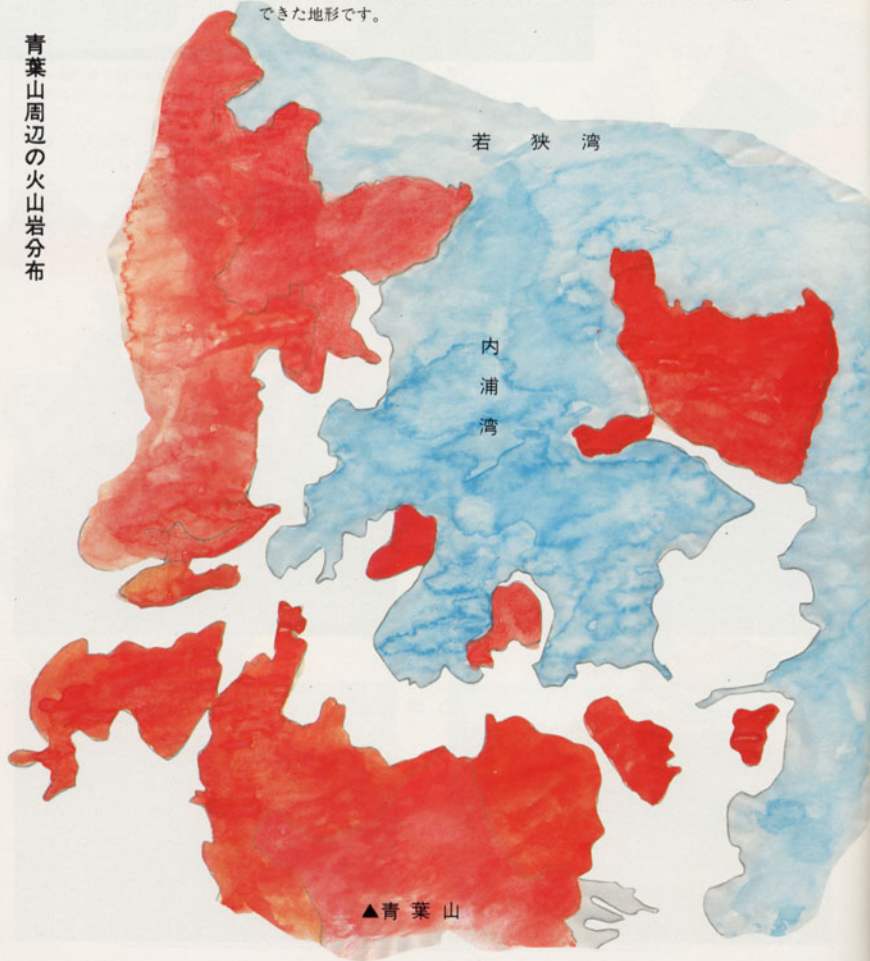
考え方

- 青葉山をつくる火山岩は他の火山岩をつらぬいて分布している。
- また、浸食によってもこのような地形をつくることもある。
- 青葉山の頂上3つの部分に分かれている。それが見る角度によって全くちがって見える。(前頁を参照)

まとめ

- 内浦湾をとりかむように分布する火山岩の種類は大きく分けると2種類になる。
- 2種類の1つの火山系は青葉山火山系である。
- 青葉山の形は見方によっては噴出した火山による山形に見えるが、溶岩の分布状況から浸食によってできた地形です。

青葉山周辺の火山岩分布



葉形のデパート

葉形から植物の名前をあてよう。

ヤマゴボウ キクバドコロ スゲカラン
カエデドコロ(やまのいも科)



ヤマゴボウ





ヤマモモ



↓アオバセセリチョウ



オトシブミの成虫



白く赤く花と装ふ葉のかげに小さくしをらし木蓼の花

田 中 長三郎

マタタビの花(木蓼の花)



あ と が き

私たち人間は、自然界の一員にすぎず、自然の恩恵によって生かされてきました。同じように、私たちの郷土文化も、そのすべてが自然環境によって支えられ、育てきました。

多忙な日常生活の中で、ともすれば忘れがちなこの大切なことを、この小冊子によって思い起こしていただければとおもいます。

この小冊子は、(1)自然環境と私たちの生活との結びつき

(2)自然の威力・無尽蔵な未知の世界—自然探求の面白さ

などに留意して作成しました。

この小冊子が、読者一人一人の自然観をたかめ、少しでも郷土の自然を大切に、これを守り、育てる活動につながれば編集者として、これにすぐるものではありません。

なお、前年度に出版した6冊の反省にたつて、県民の皆さん・読者の方々のご期待にそえるよう努力したつもりです。

"Study Nature, Not Books"

“書物でなく、自然に学べ”

ルイ、アガシーより

(企画・編集 伊藤十治)

青 葉 山・自然観察の手びき

平成2年3月発行

資料・執筆	伊藤政昭 斉藤寛昭 奥野 宏 伊藤十治
	(福井県自然環境保全調査研究会)
発行	福井県県民生活部自然保護課 〒910 福井市大手3-17-1 TEL (0776) 21-1111
印刷	若越印刷株式会社

この本は福井県自然保護基金によって作成されました。

